

## 社会は「遊ぶ」で体感できる！ 『お笑い芸人と学ぶSDGsババぬきカードゲーム』刊行

くもん出版（代表取締役社長 志村直人）は、児童書『お笑い芸人と学ぶSDGsババぬきカードゲーム』（たかまつなな/著 松下村塾/原案・プロデュース 佐藤真久/監修）を、2022年4月13日に刊行致します。

誰でも知っているババぬきのルールで遊びながら、SDGsを知り、世界が抱えている課題を体感できるカードゲームです。

SDGsへの社会的な関心は日ごとに高まり、取り組みも増えています。このカードゲームで、遊びながらSDGsを知り、ぜひ「自分でもできること」を考えるきっかけにしてください。

### 小学生から大人まで、遊びながらSDGsを体感できるカードゲーム

累計6万人以上に出張授業を行い、海外取材豊富なお笑い芸人たかまつななさんが考えた、楽しくSDGsを学ぶカードゲームです。SDGsの17の目標を、さまざまなアクションを交えながら体感し、深い学びにつなげます。学校の授業に活用したり、親子で一緒に遊んだり、企業の環境・CSR研修にも活用していただけます。



## 遊び方

### ① 基本的なルールは「ババぬき」と同じ

このゲームの基本的なルールは、「ババぬき」と同じです。

カードにはSDGsの17の目標が描かれています。隣の人の手札からカードを引いていき、同じカードが揃ったら捨てる。これを繰り返して、手札を減らしていきましょう。



### ② 揃ったカードを捨てる時はカードに書かれた数字と目標を読もう！

カードを捨てるときには、捨てるカードに書かれたSDGsの数字と目標を読み、その数字と同じ数字が書かれた「指示カード」を裏返して、その指示に従いましょう。

### ③ 指示カードに書かれた内容を実行しよう！

指示カードには、SDGsのそれぞれの目標に関連した指示が書かれているので、その指示に従います。たとえば「9 産業と技術革新の基盤をつくろう」の指示カードだと

「今から70年ほど前に、日本では橋がたくさんつくられました。しかし現在、地方では古い橋を修理するお金がありません。私は、有名人に寄付をお願いすることにしました。左隣の人が10秒数える間に、橋がつく有名人の名前をあげてください。いえた人数分のカードを右隣の人にあげます。※有名かどうかの判断も左隣の人がします。」

という指示が書かれています。



## 「自分でできること」を考えよう！

遊び方やSDGsについて解説したガイドブックや、指示カードの内容とその詳しい解説を記載した解説シート、実際の取り組み例を記載したワークシートなどの付録も充実。ゲームをやったあとは、ゲームで体感した課題について、理解を深め、「自分でできること」を考えてみましょう。



ガイドブック



解説シート



ワークシート

### 【書誌情報】

『お笑い芸人と学ぶSDGsババぬきカードゲーム』

ISBN978-4-7743-3305-2

【著者】たかまつなな/著 松下村塾/原案・プロデュース 佐藤真久/監修

【対象】小学生～大人

【内容】SDGsカード35枚、指示カード34枚、予備カード(2枚/6枚)、解説シート2枚、ワークシート1枚、ガイドブック1冊

【発売】2022年4月13日

【定価】2,750円(本体2,500円+消費税10%)

【発行】くもん出版



取材等のお問い合わせは、下記までお願い致します。

株式会社 くもん出版 (広報担当：内田昇)

〒108-8617 東京都港区高輪4-10-18 京急第1ビル13F

Email: [kouhou@kumonshuppan.com](mailto:kouhou@kumonshuppan.com)

くもん出版サイト ⇒ <https://www.kumonshuppan.com/>